

この 1,057 日を、次の一歩へ！

とうとうこの日を迎えることができました。入学式の日から約 3 年、正確にいうと 2 年 10 か月と 20 日、実に 1,057 日が経過しました。長いようでほんとに「あっ」という間の 3 年間でしたね。

県工での 3 年間は、どんな 3 年間だったのでしょうか？勉強、資格取得や部活等に積極的に頑張った生徒、言われたことだけを嫌々やってあとはひたすらダラダラ過ごした生徒（言われたことすらやらなかった生徒は、もうここには居ないと思います）、厳しい県工での学習・生活を、自分の人生にプラスになるととらえて楽しめた生徒、不平不満ばかり言ってしんどいことは避けてきた生徒……。いろんな人がいるかと思いますが。自分自身を振り返ってみて、皆さんはどんな生徒だったのでしょうか？どのように 3 年間で過ごしてきましたか？

人生の中で、いろいろな 3 年間があります。生まれてすぐの 3 年間、小学生の頃の 3 年間、中学校の 3 年間、高校の 3 年間、20 代のどこかの 3 年間、30 代のどこかの 3 年間……。私自身これまでの人生を振り返ってみて、やはり高校時代の 3 年間で最も自分が大きく成長し（身長のことではありません）、大きく自分の人生の方向性を決定づけた 3 年間であったと思います。昔のことで一番よく覚えているのも高校時代のことですし、人生をもう一度やり直せるならば、高校 1 年生からやり直したいと思うくらいです。他の大人に聞いてみてもおそらく同じように感じている人は多いでしょう。

それくらい、皆さんがまさに今終えようとしている高校時代は、皆さんの人生の中で重要なものだったのです。いまさら言ってももう遅いですが…。入学の時は、そんなことを言われても「あ、そう」としか思わなかったと思います。しかし今なら分かる人も多いかと思いますが。人間、実際経験してみないと分からない事ばかりなのです。なので、年長者の言うことはしっかりと、謙虚に聴きましょう！

…とは言え、高校時代に次ぐ重要な時期がこれからまた始まろうとしています。就職する人も進学する人も、新しい環境の中でまたコツコツと努力を積み重ね、より高度な知識・技能を身につけて人間的に大きく成長し、世の中に貢献できる立派な大人になってほしいと願っています。

辛いことや苦しいことに直面したとき、悩み事がある時は皆さんの「母港」である県工に帰って来てください。きっと県工の先生方は、喜んで皆さんの話を聴き、相談に乗ってくれますよ！



*"It is difficult to say what is impossible,
for the dream of yesterday is the hope of today
and the reality of tomorrow."*

(何が不可能であるかと言うのは難しい。なぜなら、
昨日の夢が今日の希望となり、明日には実現するのだから)

私の一番好きな言葉を 74 回生の皆さんに送ります。機械工学科の生徒諸君は、以前に聞いたことがあり、もう暗記してしまっているかとは思いますが。

この言葉は、アメリカの科学者であるロバート・ゴダード (Robert H. Godard (1882-1945)) が残した言葉です。ゴダードは“ロケットの父”と呼ばれる人物であり、人類が宇宙に飛び出すために現在では不可欠な技術である液体燃料ロケットを生み出しました。1926 年、わずか 2.5 秒、距離

56m、最高到達高度 26m、ほんの一瞬の、しかし人類の歴史を書きかえる偉大な「一歩」を成し遂げたのですが、このときニューヨークタイムズはゴダードを「人類が月に到達するなど、まともな大学教授の考えることではない。彼の知能は高校生以下である」と酷評したそうです。

この言葉の意味をあえて解説するまでもないかと思いますが。この世の中にやってできない事なことなんてありません。

常に夢（目標）を持ち、努力を重ね、充実した人生を送ってください！

卒業、おめでとう！

《Written by 学年主任》

保護者の皆さまへ

お子様のご卒業、誠にありがとうございます。これまで惜しみない愛情を注いでこられたお子様が立派に成長を遂げ、ここにご卒業を迎えられますこと、お喜びもひとしおのことと拝察いたします。心よりお祝い申し上げますとともに、これまで本校の教育活動に対してご支援、ご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

この度の新型コロナウイルスの影響により、74 回生は楽しみにしていた修学旅行にも行くことができず、また様々な教育活動に対して大きく制約を受けてきたことに、仕方がないこととはいえ、非常に残念に、そしてたいへん申し訳なく感じております。

3 年間本当にお世話になり、ありがとうございました。保護者の皆様、そして卒業生たちの今後のますますのご多幸とご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

